

2019年12月期第2四半期 決算説明会



本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする為替レートの変動などが含まれます。

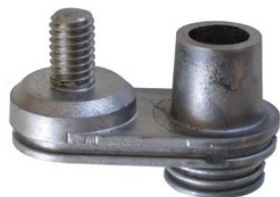
岡部グループの事業領域

多角化事業

リフトテーブル等の製造・販売や、
魚礁の製造・販売を行っております。

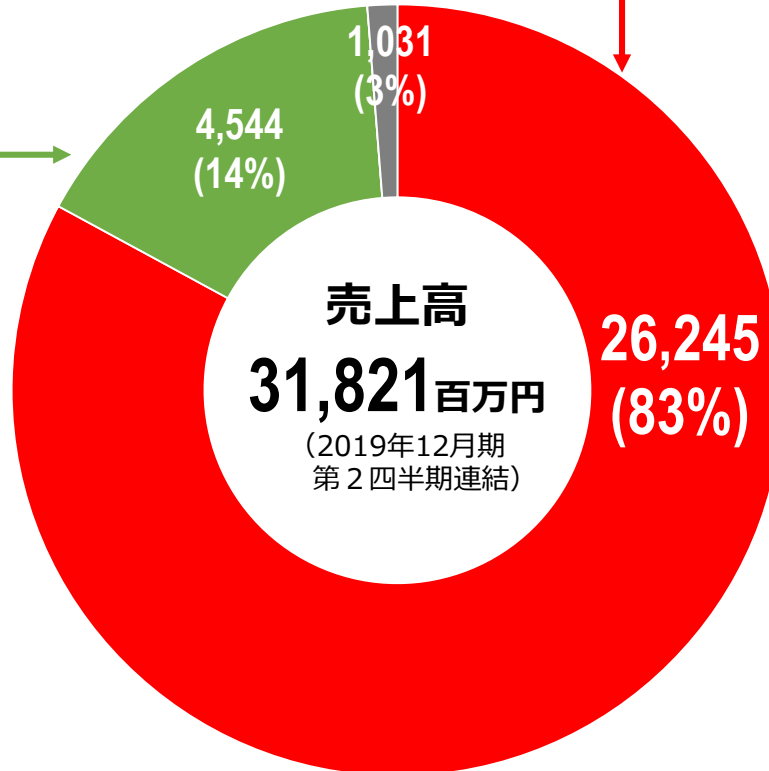
自動車関連製品事業

バッテリー端子の製造販売・
トラック等向けボルト・ナットの
販売を行っております。



建設関連製品事業

- 仮設・型枠製品
 - 土木製品
 - 構造機材製品
 - 建材商品（国内）
 - 建材商品（海外）
- より構成されております。



国内・海外売上比率

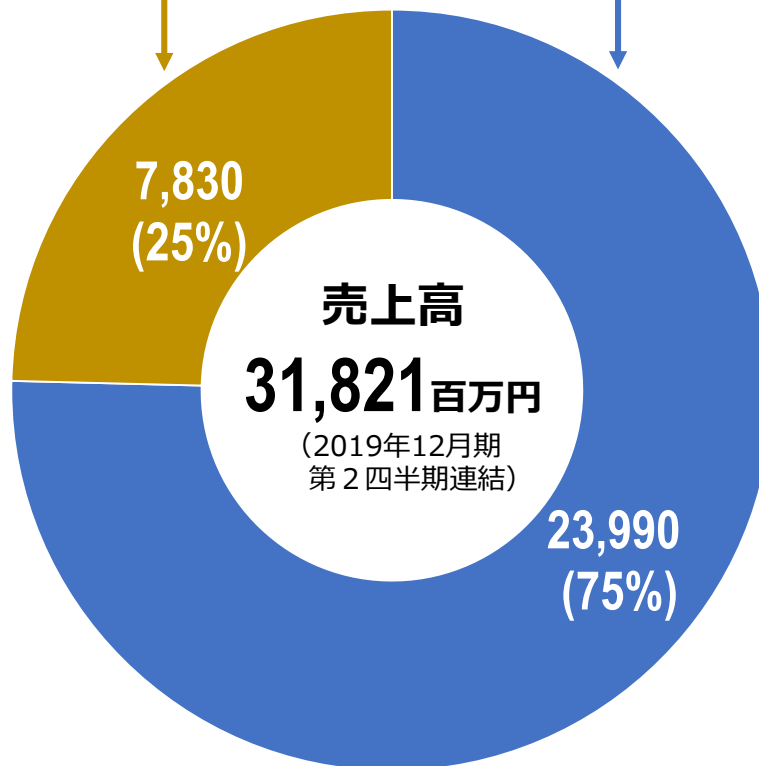
海外事業

- 建材商品販売
- 自動車関連製品事業等から構成されております。



国内事業

- 建設関連製品事業等から構成されております。



本日のアジェンダ

I. 2019年12月期 第2四半期連結業績概要

II. 2019年12月期 通期連結業績の見通し

III. Topics ①自動車関連製品事業の状況
 ②中期経営計画の進捗について

I . 2019年12月期 第2四半期連結業績概要

2019年第2四半期サマリー

プラス要因

建設関連製品事業

- 鉄筋継手やO Sリング等の構造機材製品の販売が好調。
- 災害復興工事の需要により土木製品の販売が好調。

建設関連製品事業 (北米)

- 物流倉庫の活用による商品供給力の向上等により、OCM社の販売が引き続き伸張。

マイナス要因

建設関連製品事業

- ハイテンションボルトの不足等により鉄骨造の工事が一部遅延した結果、ベースパックの売上が低調に推移。

自動車関連製品事業 (バッテリー端子製品)

- 米国工場における環境対策に伴い、業績が低調に推移。

セグメント別・製品別売上高 【前年同期比】

(単位：百万円)

		2018 2Q累計	2019 2Q累計	増減額	増減率
製品別	仮設・型枠製品	3,537	3,580	42	1.2%
	土木製品	2,684	3,030	346	12.9%
	構造機材製品	10,051	10,196	145	1.4%
	建材商品	6,408	6,420	11	0.2%
	建材商品（海外）	2,598	3,017	419	16.1%
建設関連製品事業		25,280	26,245	964	3.8%
自動車関連製品事業		5,121	4,544	△576	△11.3%
多角化事業		402	1,031	629	156.6%
合 計		30,803	31,821	1,017	3.3%

セグメント別営業利益【前年同期比】

(単位：百万円)

	2018 2Q累計	2019 2Q累計	増減額	増減率
建設関連製品事業	2,103	2,404	300	14.3%
自動車関連製品事業	353	81	△272	△76.9%
多角化事業	△67	20	88	—
合 計	2,390	2,506	116	4.9%

連結業績概況 【前年同期比】

(単位：百万円)

	2018 2Q累計	2019 2Q累計	増減額	増減率
売上高	30,803	31,821	1,017	3.3%
営業利益	2,390	2,506	116	4.9%
(営業利益率)	7.8%	7.9%	—	—
経常利益	2,598	2,733	135	5.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,998	1,685	△312	△15.6%

連結財政状態 【前年同期比】

(単位：百万円)

		2018 期末	2019 2Q末	増減額
資	産	87,701	89,096	1,394
負	債	31,367	32,343	975
(有利子負債)		9,743	11,137	1,394
純	資 産	56,333	56,752	418

※自己資本比率

64.2%

63.7%

Ⅱ. 2019年12月期 通期連結業績の見通し

2019年度下期の見通し

プラス材料

建設関連製品事業

- 遅延していた鉄骨造工事が徐々に進捗する見通し。
- 災害復興工事等の公共工事に底堅い需要を見込む。

自動車関連製品事業

- 環境問題により低下していた稼働率が徐々に改善する見通し。

マイナス材料

建設関連製品事業

- 人手不足等による工期の遅れ。

自動車関連製品事業

- 引き続き、老朽化した生産設備の改善を要する。

下期 セグメント別 事業状況の見通しについて

建設関連 製品事業

仮設・型枠 : 省力化に貢献するリース製品がけん引し、引き続き堅調。

土木 : 災害復興工事等の需要により、引き続き好調。

構造機材 : 鉄骨造工事の回復によるベースパックの復調を見込む。

建材商品 : 底堅い需要を支えに、堅調な販売を見込む。

建材商品(海外) : 新倉庫活用等により、引き続き堅調。

自動車関連 製品事業

バッテリー端子

・北米 : 生産の稼働率が徐々に回復する見通し。

・欧州 : 販売価格の見直しにより、利益率の改善を見込む。

ボルト・ナット

・北米 : 前年並みを予想。

多角化 事業

リフトテーブル : 先行指標である設備投資動向に陰り。

海洋事業 : 浮き漁礁が前年を上回る販売を見込む。

釣り用錘 : 前年並みを予想。

アクションプラン

建設関連製品事業

- 物流等のコスト上昇対策と適切な価格転嫁
- 提案型営業による高付加価値製品の拡販
- 省力化製品の拡販

自動車関連製品事業

- 環境問題への対応により低下した稼働率向上と収益性の改善を図る。

多角化事業

- 岡部(株)と(株)河原の連携により、リフトテーブル等の建設現場への設計折り込み営業等を実施。

2019年度 通期連結業績予想

(単位：百万円)	2018 通期実績	2019 通期予想	増減額	増減率
売上高	64,785	68,500	3,714	5.7%
営業利益	5,349	6,100	750	14.0%
(営業利益率)	8.3%	8.9%	—	—
経常利益	5,601	6,200	598	10.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	3,785	4,300	514	13.6%

通期セグメント別・製品別売上高予想(従来予想比)

(単位：百万円)

		2019 従来予想	2019 修正予想	増減額	増減率
製品別	仮設・型枠製品	7,300	7,320	20	0.3%
	土木製品	6,100	6,600	500	8.2%
	構造機材製品	22,800	23,000	200	0.9%
	建材商品	12,700	12,700	0	0.0%
	建材商品（海外）	6,400	6,400	0	0.0%
建設関連製品事業		55,300	56,020	720	1.3%
自動車関連製品事業		9,800	9,080	△720	△7.3%
多角化事業		3,400	3,400	0	0.0%
合 計		68,500	68,500	0	0.0%

2019年度通期セグメント別営業利益予想

(単位：百万円)

	2019 従来予想	2019 修正予想	増減額	増減率
建設関連製品事業	5,100	5,540	440	8.6%
自動車関連製品事業	750	310	△440	△58.7%
多角化事業	250	250	0	0.0%
合 計	6,100	6,100	0	0.0%

株主還元方針 -配当政策について-

	2017	2018	2019 (予想)
1株当たり 当期純利益	69.95円	62.79円	86.29円
1株当たり 配当金額	30.00円	26.00円	28.00円
連結配当性向	42.9%	41.4%	32.4%

資産収益性について

- ・財務の健全性を維持しつつ、持続的な向上を図ります

(単位：百万円)	2017	2018	2019 (予想)
当 期 純 利 益	3,485	3,128	4,300
純 資 産	53,828	56,292	57,838
R O E	6.5%	5.6%	7.4%

※純資産の数字は期中平均を使用しております。

Topics

- ① 自動車関連製品事業の状況
- ② 中期経営計画の進捗について

①米国工場の一部生産設備の一時操業停止について

・概要

- 社内調査において、一部の環境設備の不具合により、ミネソタ環境局の定める基準を上回る量のトリクロロエチレンが大気に放出されていることが判明。
- ↓
- 一部の生産設備を2019年1月14日～3月3日の約1カ月半の間、停止した。

・操業再開について

- 是正措置を実施し、現地法令等をすべて満たしたことから、3月4日より操業を再開。

①自動車関連製品事業における本件の影響(上期実績)

本件への対応に伴い稼働率が低下したことなどにより、販売が低調。

・自動車関連製品事業 上期実績(前年対比)と本件による影響額

(単位：百万円)	2018 2Q累計	2019 2Q累計	増減額	増減率
売上高	5,121	4,544	△576	△11.3%
営業利益	353	81	△272	△76.9%



大部分が稼働率低下による影響

①自動車関連製品事業の下期の見通し

- 環境基準に適合した新たな生産方法においても、徐々に稼働率が上昇。
- 適正マージン確保のため、製品価格の見直しへ。

・自動車関連製品事業 下期の業績見通し

(単位：百万円)	2018 下期実績	2019 下期予想	増減額	増減率
売上高	4,954	4,536	△418	△8.4%
営業利益	233	229	△4	△1.7%

上期の実績と比較して前年対比の減少額が改善する見通し

①自動車関連製品事業の通期の見通し

- 自動車関連製品事業通期の業績予想（前年対比）

(単位：百万円)	2018	2019	増減額	増減率
	通期実績	通期予想		
売上高	10,075	9,080	△995	△9.9%
営業利益	587	310	△277	△47.3%

中期経営計画 2017-2019

NEXT100

~Exciting Future~

STRATEGY

3つの柱

コア事業への
経営資源の集中

新製品開発強化

グローバル展開推進



okabe

建設関連製品事業

自動車関連製品事業

多角化事業

VALUE & STRUCTURE

Strengthen

経営基盤の強化

VISION

Global Maker

安全と安心の提供を通じて
社会に貢献するグローバル・メーカー

技術力

×

ワクワク

経営基盤～4つの強化策

- 1 創業期以来の社是の再確認
- 2 多様な人材獲得・育成（人材のグローバル化とダイバーシティ）
- 3 IT化のさらなる推進による職場環境の改善と業務効率化
- 4 ガバナンス強化

②NEXT100 設備投資・研究開発費

3年間の設備投資計画額

170億円

【事業別内訳】

● 建設関連製品事業

130億円

国内：生産拠点整備、研究開発投資	55億円
米国：物流拠点拡充、新規生産設備等	45億円
共通：IT投資、更新投資等	30億円

● 自動車関連製品事業

40億円

生産設備増強・研究開発投資	40億円
---------------	------

②中期経営計画 NEXT100 投資一覧(実施済み)

建設関連製品事業

- (株)富士ボルト製作所の発行済全株式を取得
- 総合実験センターの建設
- 久喜工場の拠点整備
- 北米における新物流倉庫の建設

自動車関連製品事業

- 米国・欧州における生産設備の更新（一部実施済）

多角化事業

- (株)河原の発行済全株式を取得

全社共通

- 経営基盤の強化や業務効率化を目的としたIT等への投資

②中期経営計画 NEXT100 投資一覧(予定)

建設関連製品事業

- フジボルトインドネシアにおける生産設備の更新
- 千葉工場の拠点整備

自動車関連製品事業

- 米国工場の生産設備の更新に注力
→ 工場全体の抜本的な見直しを含めた、製造効率向上に向けた計画策定については**来期以降に持ち越し**。

②働き方改革および業務効率化について(一例)

働き方改革推進

中期経営計画 2017-2019
NEXT100
- Exciting Future -

**取ろう!!
有給休暇**
月1日以上取得!

岡部もやります。

**帰ろう!!
ノー残業デーの
定時退社**

働き方改革に向けた
3つの施策

- 1 業務の棚卸し・
負荷分散の推進
■ 平均単価業務や低単価の低い業務を削減
■ 長時間労働を1人に集中させない
- 2 NO MORE
自主残業
■ 残業は上司の指示で行うもの
■ 残業削減は上司の義務
- 3 1/8会議の実施
■ 時間・人数・資料を1/2にして効率化
(1/2×1/2×1/2=1/8)

従業員のための

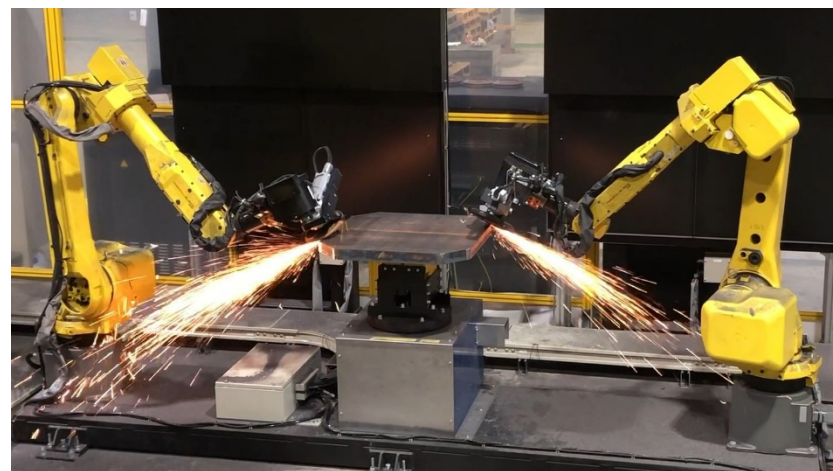
「働き方改革」推進中!



業務効率化(設備)

最新技術導入による

自動化



残業時間削減等の効果

参考資料

本資料のうち、業績見通し等に記載されている将来の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでおります。従いまして、これらの業績見通しのみに依拠して投資判断を下すことは控えるようお願いいたします。実際の業績は様々な重要な要素により、これら業績見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おき下さい。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする為替レートの変動などが含まれます。

セグメント別・製品別売上高予想(前年実績対比)

(単位：百万円)

		2018 通期実績	2019 通期予想	増減額	増減率
製品別	仮設・型枠製品	7,386	7,320	△66	△0.9%
	土木製品	6,043	6,600	556	9.2%
	構造機材製品	20,670	23,000	2,329	11.3%
	建材商品	13,072	12,700	△372	△2.9%
	建材商品（海外）	6,199	6,400	200	3.2%
建設関連製品事業		53,372	56,020	2,647	5.0%
自動車関連製品事業		10,075	9,080	△995	△9.9%
多角化事業		1,337	3,400	2,062	154.2%
合 計		64,785	68,500	3,714	5.7%

2019年度通期セグメント別営業利益予想

(単位：百万円)

	2018 通期実績	2019 通期予想	増減額	増減率
建設関連製品事業	4,727	5,540	812	17.2%
自動車関連製品事業	587	310	△277	△47.3%
多 角 化 事 業	34	250	215	626.1%
合 計	5,349	6,100	750	14.0%

為替による影響

※期中平均レートを使用しております。

	2018 2Q実績	2019 2Q実績	増減額
米 ド ル	109.64円	110.56円	0.92円

約6千万円の増収、約2百万円の増益効果

	2018 通期実績	2019 通期予想	増減額
米 ド ル	109.46円	104.00円	△5.46円

約8億5千万円の減収、約4千8百円の減益効果

買収の概要

株式取得日 : 2019年1月31日
株式取得割合 : 100%

(株)河原の会社概要

主力事業 : リフトテーブルの製造・販売
拠点 : 広島県尾道市(本社)、東京、名古屋、大阪
製造拠点 : 尾道本社周辺に工場を保有
業績 : 売上高 24億2千万円 (2018年3月期実績)
営業利益 3億6千5百万円(2018年3月期実績)

リフトテーブルについて

製品概要 : 作業テーブル、マテリアルハンドリング、舞台装置等、様々な場面で段差解消のために使用される。



(株)河原の業界における強み・シェア・取引先

強み : 特殊な用途向けの製品を設計・製造する技術力

シェア : 日本国内において高いシェアを誇る

顧客基盤 : 様々な業界において6,000社の取引実績

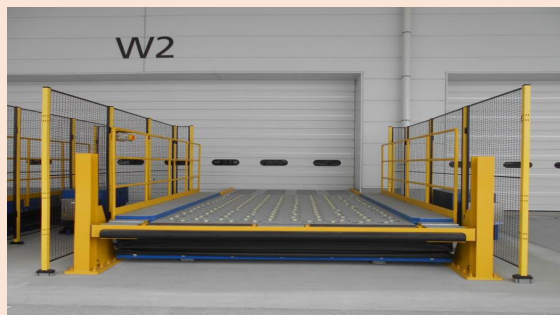
買収の狙い

1 製品ラインアップの拡充

河原の製品ラインアップ



工場向け製品



物流施設向け製品



岡部の建設現場向け営業力



営業（建設資材）



営業（ベースパック）



営業（土木）

シナジー① 岡部の営業力活用による販売力強化

買収の狙い

2 海外向け製品の獲得

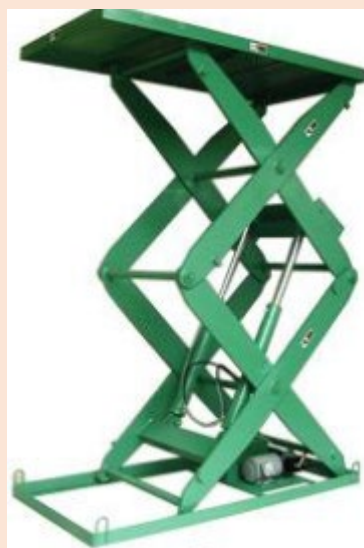
世界中で需要があるリフトテーブル



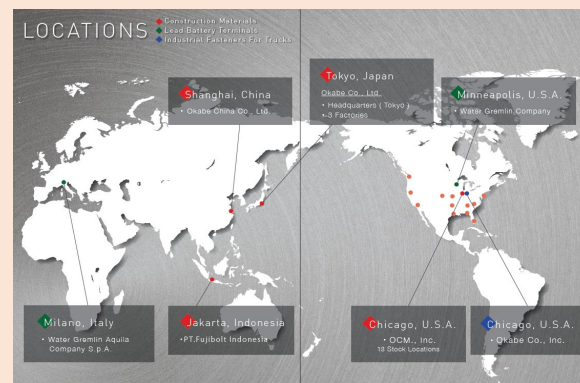
岡部の海外における営業拠点



Kシリーズ



KTLシリーズ



OCM社・オカベインク社



フジボルトインドネシア

シナジー② 海外向け販路の新規開拓